



第 34 号

発行所 馬場ケ 水沢区 奥州市
水沢高校 同窓会
☎0197-24-3151

二十一世紀に入って早六年目、同窓生の皆様には恙なく新しい年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は酉年でしたが、振り返ってみますと、その象徴と言わんばかりに、黎明告げる雄鶏の如く、改革、改革、何が何でも改革と小泉首相が高らかに歌い上げた一年でありました。果たして、その結果は如何でありましょうか。

始まったばかりの改革なのに、その効果を問うのは性急過ぎると言われる方もおられることでしょうが、構造改革の一部である「規制撤廃」は数年前の会報でも触れ、憂慮しましたように、弱肉強食の度合いを強め、国民の間の経済的格差を拡大しつつあることは、マスコミの報道を待つばかりでなく、我々自身が日々痛切に身を感じていることではないでしょうか。これでは、国民一般の為の改革ではなくて、一部の人の為の改革でしかありません。

郵政改革でも当初から懸念されましたのは、都市部は別として、過疎地における郵便局の消滅ということでありました。そのような事にならないようにと、何らかの手立ては一応打たれているようですが、民営化ということになれば、当然ながら利



「改革」に思う

同窓会長 及川 源悦郎

まりかわること」とありました。ついでに「改革」とよく似た言葉の「改善」を調べてみますと、「悪いところを改めてよくすること」と出ております。言うまでもなく「改革」は「改善」の為になされるべきものであって、その結果が「これまでよりも、一層よくなる」のでなければ、むしろ、改革などしない方がよいということになります。

戦後三年目に制定された独占禁止法は一部大企業の独占的経済支配を排除し、経済の民主化を図る為のものでありましたが、何やらその意図に反した方向に進みつつあるような気がしてなりません。

益の追求が最大の目標となり、一般国民、特に経済的中心部から離れた人々への日常生活に不可欠なサービスがどうなるかは、火を見るより明らかではないかと思うのは、私の浅慮に過ぎないのでしょうか。

「改革」は何も経済に限ったことではありません。教育の場でも一つの「改革」が行われようとしております。それは「小学校における英語の授業の必修化」ということです。なるほど、確かに国際化が進み、他

国との交流には英語は必要欠くべからざるものとなっていることを否定するものではありません。しかし、同時に、最近の若者をはじめとする日本語の乱れが問題となっていることも大きな問題です。小学校における英語教育について、知人の元英語教師に尋ねてみたところ、次のような言葉が返って来ました。

「音声面では早い時期から訓練した方がより効果的であることは間違いないありません。しかし、それ以前になされなければならぬ大切なことがあります。それは、小学校では母国語である日本語の力をしっかり身につけることの方が、一層必要であり、それが、後の英語教育に大きくプラスになるということです。」

今年が戌年。犬は忠誠心の強い生き物の代表としてよく知られておりますが、ここで気をつけなければならぬのは、犬はその主人が悪人であって、悪事を行うとも、それに忠実に従うということです。小泉首相はじめ、我々が選んだ代表が、一部の存在に対して忠誠心を示す改革ではなく、我々一般国民の一人一人への忠誠心の表れとなる改革を行って欲しいものです。

「情緒を育む美しい自然」



校長 佐々木 繁夫

平成十七年度もまもなく終わりを迎える時期になりました。同窓会の皆様には、日頃から物心両面に渡り変わらぬご支援、ご協力を賜りまして心から感謝を申し上げます。

また、今年度は水沢の他に盛岡、東京、仙台の各支部で行われました同窓会にもお招きいただき、心温まる歓迎と学校への励ましを頂戴しました。それぞれの地域にしっかりと根ざし、様々な分野で活躍をされておられるたくさんの方々の皆様にお会いすることができ、改めて水沢高校の伝統、そして人材を世に輩出する底力を感じたところでありました。同時に皆様の後輩に当たる在校生をしっかりと育てて参らなければと思いを新たにしているところで

す。皆さまのご活躍の様子は、折にふれ生徒に紹介して参りたいと考えております。今後も、同窓生の皆様のご活躍の様子を、情報としてお寄せいただきますようお願いを申し上げます。

さて、最近「国家の品格」という本を読む機会がありました。作者はお茶の水女子大学教授で数学者の藤原正彦氏です。彼はこの本の中の一部で次のように言っております。日本人の生み出した普遍的価値のうち最大のもは、「もののあわれ」とか、自然への畏敬心、跪く心、懐かしさ、自然への繊細な感受性といった美しい情緒である。その結果、世界に誇る数多くの文学作品を生み出し、また同時に数学などの科学的分野でも

素晴らしい業績をあげてきた。その美的感覚を育んできた要因は、日本の美しい自然である。また、世界的に見ても素晴らしい独創性を発揮した天才に共通しているものは、皆美しい自然の中で育った人達である。それは、多くの数学者を輩出しているアイルランドであり、科学分野などでノーベル賞受賞者をたくさん出した国として未だに尊敬を受けているイギリスであり、そして優れた数学者や数学者をたくさん輩出している日本である、という。

私は本校に赴任以来、生徒諸君の気風として、概して素直であり、思いやりがあり、勉学にも部活にも着実に努力を積み重ねる真面目な生徒達であると感じておりました。藤原氏の本を読み、こうした本校の気風は、学校を取り巻く豊かな自然環境の成せるわざであったのかと私は一人納得をした次第であります。おそらく、このことは同窓生の皆様にも賛意を得られるのではないかと勝手にですが想像をしております。事実今年度も生徒諸君は、多方面にわたる色々な成果をあげておりました。一例として絵画部門の全国高総文祭への出展、県読書感想文コンクールで

の入賞者多数、全国的な俳句、短歌の大会で入賞者多数、来年度音楽部の全国高総文祭出場等々実に文武両面にわたりたくさんの方々の生徒が才能を発揮しております。このようなことから、広い敷地に豊かな自然を有している本校の素晴らしい自然環境は、多感な青年期の豊かな情操を育む要因の一つになっていないかと確信しても良いのではないかと考えます。改めて、今後ともこの環境を守っていかねばならないと思いを新たにしているところであります。

あと数年先に本校は百周年を迎えます。今年度は、百周年記念事業の準備会を立ち上げることができました。十八年度からは、いよいよ具体的な活動が進められていくこととなります。記念事業の中には、この本校の美しい自然環境を大切にす環境整備もその一つに加えたいものだと考えているところであります。終わりに、同窓生の皆さまには、それぞれの地での益々のご活躍を祈り申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成十七年度同窓会総会

平成十七年度水沢高等学校同窓会総会が、八月二十日(土)午後五時より水沢グランドホテルにおいて開催されました。例年は八月の第二土曜日でしたが、今年はお盆に重なることから一週間繰り下げての開催となりました。当日は約四十名とほぼ例年並みのご参加を得て、恩師の先生方を囲んで楽しく和やかなひと時を過ごすことができました。

総会では、平成十六年度事業報告および決算案、次いで平成十七年度事業計画案および予算案が事務局から提案され審議のち承認されました。その中で、母校への支援に関わる事業(部活動等への激励金、合宿費補助、卒業記念品、OBによる講演など)、および同窓生相互の親睦に関わる事業(総会の開催、同窓会報の発行、支部事業への支援など)のほか、平成二十二年に迎える創立百周年に向けた推進委員会の発足についても承認されております。また、同窓会に対して多くの方々からご寄付をお寄せいただいたことも報告されました。改めてこの場をお借りして深く感謝申し上げます。総会に引き続き懇親会が開か

れ、細野弘先生(英語、昭和四一～四八年ご在職)、佐久間研次郎先生(保健体育、昭和四六～五二年ご在職)、米澤照雄先生(物理、昭和四五～五四年ご在職)の三名の先生方からは、当時を回想しながらの懐かしいお話を伺いました。先生方のお話からは、いずれも水高に寄せる熱い期待をひしひしと感じ、私たちも負けてはいられないという思いを強くいたしました。また、懇談と並行してスクリーンに現在の水高の様子が映し出され、同窓生の皆様のお力添えによって校地の美しい環境が保持されている模様や、この恵まれた環境の中で部活動や大運動会・飛龍祭などの行事に躍動し勉学に打ちこむ在校生の様子が紹介されました。楽しい時間はあっという間に過ぎ去るもので、宴も佳境に入ったところで、来年の再会と母校の発展を祈念して全員で校歌を歌い、別れを惜しみつつ散会となりました。次年度の総会は例年どおり八月の第二土曜日に開催したいと考えておりますので、今年度以上に多数ご参加くださいますようお願いいたします。(事務局長記)



水沢高等学校創立百周年(平成二十二年)に向けて

同窓会総会での承認をうけて、「岩手県立水沢高等学校創立百周年記念事業推進委員会(仮称)設立準備会」が、平成十七年十月二十二日(土)に水沢グランドホテルにおいて開かれました。出席者は十一名で、同窓会長、PTA教育振興会長、歴代PTA会長(九十周年以降)、校長、教頭、事務局となっております。協議では、まず名称を「岩手県立水沢高等学校創立百周年記念事業推進委員会」とすること、および「同推進委員会」を平成二十年をめどに発足させることとし、当面は「準備会」として活動することが決定されました。また、準備会代表には元PTA会長の長野耕定さんが選出されました。今後は、同窓会、PTA、育英会、学校が一体となって諸準備に当たっていくこととなりますので、関係の皆様のご協力をお願いいたします。

スーパーサイエンスハイスクール(SSHS)事業報告

文部科学省より平成十五年度から三カ年の指定を受けて実施しているスーパーサイエンスハイスクール(SSHS) 研究開発も最終年度となりました。この事業は、科学技術、理科・数学教育を重点的に行う学校を、文部科学省がSSHとして指定し、高等学校及び中高一貫教育校における理科・数学に重点を置いたカリキュラムの開発、大学や研究機関等との効果的な連携方策についての研究を推進し、将来有為な科学技術系人材の育成に資するものです。皆様ご存じのとおり、本校は昭和四十四年に県内の理数科が設置(同時に盛岡一高、釜石南高)されるなど、県内理数教育の拠点校としてその役割を果たしており、SSHの指定により一層充実した理数教育の実施に努めてきました。三年間の総予算額は約五千万円で、実験機器の充実や県外での実習など、SSHならではの教育活動ができました。今年度の実施内容の概要は以下のようになります。

- ① 課題研究(理数科二年生) ……十二班に分かれ特定のテーマに沿って研究に取り組んだ。
- ② 県内のALITによる英語プレゼンテーション指導(理数科一年生) ……より本格的な英語発表とするため、県内のALIT九人に少人数指導を受けた。
- ③ 秋田県森吉山におけるフィールドワーク(理数科一年・夏季休業中二泊三日)
- ④ 東北大学オープンキャンパス見学(理数科二年)
- ⑤ 理数科二年見学学習(夏季休業中二泊三日) ……筑波宇宙センター、高エネルギー加速器研究機構、日本科学未来館で実験や見学を行った。
- ⑥ 理数科一年見学学習 ……生物学研究センター、農業研究センター、岩手県先端科学技術研究センターなど県内五カ所の研究機関で実験を行った。
- ⑦ 岩手大学での実験(希望者) ……物理・化学・生物の三コース(二日間)で実験を行った。
- ⑧ 講演会 ……SSH研究発表会記念講演会(東京大・藤井敏嗣教授)、英語による講演会(米国マケット大学准教授、本校卒業生による講演会(高エネルギー加速器研究機構・小野正明教授)、テレビ会議システムによる講演会など、七回、計十三人の講師を招聘し行った。



⑨ SSH研究発表会 ……十一月二日に本校を会場に、課題研究の中間発表や授業公開、三カ年の取り組みについての発表を行った。

なお、SSH研究開発運営にあたっては同窓会や同窓生のみならずからの多大なご協力もいただいております。見学習での県内研究機関における実習では、各研究機関や県庁科学技術課に勤務する多くの同窓生の協力を得ております。九月二十六日には高エネルギー加速器研究機構の小野正明教授(昭和43年卒)により「高エネルギー物理学とはなんだろうか?」と題して素粒子や加速器実験について高度な内容の講義をいただきました。SSH研究発表会記念講演会では、昨年度末に高橋正吾氏(昭和45年卒)から、元東京大教授の菊地正幸氏(故人、昭和41年卒)が「リアルタイム地震学」と呼ばれる素晴らしい業績を残したこと、そして東京大前副学長の藤井敏嗣教授が故郷地教授の大親友であったことを紹介していただきましたので、藤井教授に依頼したところ快く引き受けて下さいました。講演会では藤井教授の専門分野である火山学のみならず、故郷地教授の人柄や業績についても触れていただき、生徒諸君は大きな感銘を受けました。講演会実施に当たっては同窓会からさまざまなご援助もいただいております。ありがとうございました。

来年度以降のSSHについては未定ですが、今年度までに蓄積した内容を継承し、効果的な教育活動を展開していきたいと考えております。そのためにも、全国各地で活躍されている同窓生の情報などございましたらば担当者まで一報いただければと思いますし、本校から講演会や実習などの依頼があった場合には、快く引き受けていただければ幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

支部だより

関東地区同窓会

阿部NHKアナの講演で

盛り上がり

第十三回関東地区同窓会が平成十七年十一月十二日、東京・大手町の経団連会館で開催されました。今回、特別講演の講師は阿部渉NHKアナウンサー(昭和61年卒)。紅白歌合戦、歌謡コンサートなどでおなじみの阿部アナの「アナウンサー奮闘記」は「水沢弁」も織り交ぜ、体験談たっぷりの楽しい内容で大受け。出席者は前回は上回り、にぎやかな同窓会となりました。

来賓として小沢一郎衆議院議員(秘書の方が代理)、本校OBの平野達男参議院議員(昭和48年卒)のほか、佐々木繁夫校長先生、同窓会担当の佐々木敬二先生、及川源悦郎同窓会会長が出席して下さいました。

総会は小野スミ子会長のあいさつに続き、会計報告、監査報告を承認。小野会長、佐々木実智男事務局長ら向こう二年の新役員も了承されました。



(昭和48年卒、千葉吉彦)

高橋薫さんの司会、松樹(阿部)借子さんのピアノ演奏で進行した懇親パーティーでは、校歌、第一、第二応援歌などのオンパレード。歌詞を見れば、皆すぐ思い出し、懐かしい歌の数々を思い切り歌いました。業務多忙の阿部アナは途中退席しましたが、会場のあちこちでひっぱりだこ。同じラグビー部出身の平野議員と健闘を誓い合った阿部アナに、招待学生の幅下雄大君(早大)の指揮でエールを送りました。

一年おきに開催している関東地区同窓会。今回は予定以外の出席者も多く、一〇〇人を超える盛況でした。それでも若い方々は少なめ。忙しい日々を送っていることでしょうか、懐かしい校歌を歌うと、元気がわき出てくるはず。今回の案内が届きましたら「今回は出席してみようかな」と、一人でも多くの方に出席していただければと思います。

仙台支部総会

平成十七年十二月一日仙台支部総会並びに懇親会がホテル仙台プラザにて開催されました。ご来賓として本部から及川会長・大内事務局次長、佐々木繁夫校長先生をお迎えし、大盛況裏に終了しました。

当日は三年振りの開催にもかかわらず、宮城在住の五十四名が出席、役員改選・新役員の紹介等の後、躍進著しい母校の現状紹介に歓声があがりました。その後は宴会・懇談に入り、卒業年度ごとの自己紹介を兼ねたスピーチや校歌斉唱等があり時間オーバーする状況でした。

新制高校一回生卒業が昭和二十六年で最高年齢は七十五歳、高齢化時代に突入しましたが「まだまだ青春!」感受性豊かな時期に「竜が馬場」で過ごした「三年間の想い」に浸れた素敵な時間でした。

事務局ではメールやweb等での連絡方法を取り入れ気楽に参加出来る仙台支部を構築して参ります。宮城在住の方は元より、仙台単身赴任者等々、皆様のご参加大歓迎です。

新役員紹介 会長 菅野國夫(26年卒) 副会長 高橋隆志(33年卒)

齋藤健(34年卒)
 仙台支部連絡先 千六二八六三 仙台市青葉区二日町一―二七 鹿島建設東北支店ビル内 カジマメカトロ エンジンニア
 リング(柳水) 沢高等学校 仙台地区同窓会事務局
 ☎〇二二一 一七一五―二三五七
 itaya009 @mountain ocn.ne.jp
 板屋宏治 (39年卒)

盛岡支部総会

石川敬治郎先輩本日に

ありがとうございました

平成十七年盛岡支部総会は、七月十五日午後六時から副支部長の岩淵晃行先輩の挨拶で始まった。年々参加者が減少傾向にあったが、この日はいっぴくに多く参加者が多く、当日の

同窓生から寄せられたお便り

盛岡三度目の同級会に集う 及川 陸男 (高5回・昭和28年卒)

飛び入りもあり、事務局を慌てさせ、また、うれしがらせた。
その理由はすぐに判明した。
実は、盛岡支部を設立し、以来長い間支部長をしていた石川敬治郎先輩が、この四月二十四日に逝去されたのである。石川先輩は、岩手愛児会長やみちのくこども療育センター長など医師としてのみならず広く福祉関係でも活躍され、私ども同窓生も、支部長をしていただいていることに誇りを抱いていた。盛岡グランドホテルで行われたお別れの会には、本当に多くの関係者が出席し、別れを惜しんだ。合掌。

校長先生から学校の概況について報告いただき、現在はスーパーサイエンスハイスクールの指定を受けるなど大変優秀な後輩が育っているように、私たちの頃とは成績を見ても隔世の感がある(同級生ゴメン)といつも感じ入っている。

会は、毎年大変恐縮しているところであるが、校長先生はじめ担当の方々出席のもと、石川先輩の思い出話から野球部の話題と急遽実施した寄付などで盛り上がり、学年で二次会を予定しているグループも多く八時三十分ごろ(?)散会した。
(盛岡支部 小野功)

昭和二八年(第五回)卒業の盛岡地区同級会を十一月二十三日正午からホテルエース盛岡で開催した。平成五年、九年に次ぐ三回目の開催で毎回嬉しいことに参加者も多く男女半々の構成で開いている。

今回は、盛岡地区在住一八名に加え、水沢、江刺、宮古、大槌から総勢三七名が参加して、高橋力先生を囲み古希を過ぎた者共が青春を謳歌した。材木町「よ市」の立役者でカメラ店主の岩淵晃行君の司会、自動車販売の渡邊泰安君の開会、児童・老人福祉センター勤めの及川が発起人代表挨拶、水沢代表幹事長の今野徳哉君の乾杯、そして高力先生から心温まるご挨拶をいただいた。生母在住・菊地稔君が投稿した高校一年二組の回想コラム記事「老桜」(地元紙掲載)が葉と共に配布され、戦後復興最中の半世紀前の高校時代が話

題の中心で、誰からともなく語り出され一斉にどの円卓も賑わった。宴の半ばには、量業界の功績で旭日双光章を受章した佐藤忠夫君(不断町)の紹介とスピーチがあり、一同慶び合った。また、流行歌のリクエストに応えるカラオケありで時の経つのも早くあつという間の三時間であった。及川英子さんの閉会で、今後の壮健と再会を念じながら散会した。別れがたく話の続きは二次会で、更に二時間の人も多かった。



卒業四十五周年記念登山

千田 實
(高12回・昭和35年卒)

水高を卒業して丁度四十五年となり、これを記念して同級生で登山の企画をしました。皆さんに山のすばらしさを少しでも感じていただければ、健康の有り難さ、友達や同級生のすばらしさ、水高生で良かったとの感謝の心をわかっていただけたら仕合わせです。

四月十八日(二十日、岩手在住者五名(女性四人・男性一人)と関東在住者八名(女性三人・男性五人)の参加者十三名で《お花見と山歩》の会を開催した。

十八日は遠路の方を考慮して、九時四十分上野駅出発予定だったが、いまだ水沢時間をきちんと守る方が若干一名。レンタカーで目的地、群馬県の「嵩山」(七八九mの霊山)の麓に十二時に到着。鯉轎が歓迎してくれた。町営の「手打ち蕎麦屋・けやき」で腹ごしらえをし、十三時にオットリ刀で登山開始。お天気も良く、久しぶりの再会に、心も体もおまけに息まで弾む。早くも弱音が聞こえる。「だれだあ?」一時間ほ

どで峰に到着。西から小天狗・中天狗・大天狗と並ぶ岩山で、随所に鎖場があり、絶叫と絶景驚嘆の声が頻りに交差。十六時過ぎには「コニファー岩櫃」の温泉客となる。

十九日は本命の【子持山】(一二九六m)で、天気も上々。昨日の鎖場の練習の成果を発揮してほしいと願いつつ……、中級の上(峰コース)を選定。屏風岩頂上から、佐藤・庄司・斎藤・新谷が先導していると、「こんななんだったらこなかったあ」の声しきり。確かに「困難だったら、来なかったあ」の感じか……と苦笑するも、「うわあ!すごい!」で勇気づけられてそのまま難コースを進む。休憩もこまめに入れて、ゆつくりユックリ登る。十二時半に獅子岩頂上に到着。ニコニコ昼食。

「あと、どのくらいいい?」の問いと答えてみんなを歩かせる。(あと一時間半はかかるなあ)皆六十三才とは思えないスタミナでした。下山後、伊香保温泉「ホテル轟」の客となる。昼にあんなに歩いたのに、夜の町を散歩。遊技場で景品をもらってはしゃいでいるが、「明日は高尾山だから」と、何とか宿に戻る。



「子持山山頂(十二山神)での素敵な笑顔」

二十日は曇天。《お花見》は霧雨。十一時にJR高尾山駅に到着。さらに二人の参加者を加えて、山頂まで霧雨の中を歩く。でも、サクラは満開だった!十三時半から麓の店で反省会。感嘆・感激・感動一杯の三日間。疲れも手伝い、ピールの回りも速い。運転手(筆者十一名)はウーロンチャで酔う。二時間近く店を占領し、満足・満腹。

同級生は、当時の「年齢・時代」の間柄で話せる。時間が戻る。高校の時の心そのまま付き合える。素晴らしい!姿かたちは五十代ぐらい?に老いてはいたが……、青春の輝き一杯の三日間でした。水高を卒業したことに感謝!

草野心平と父

三浦久子(旧姓菊池)
(高一回 昭和24年卒)

草野心平の写真を接写したものを二枚同封します。いわき市草野心平記念文学館へ送り、問い合わせたものです。その際、いわき市草野心平記念文学館から大変参考になる冊子を二冊頂戴いたしました。図書室にでも置いて生徒さん方に見ていただいた方がよいのではないかと考えましたので送らせていただきます。

八〇年史の中に「岩手日報平成二年九月二日掲載」とありましたが、調べましたら九月二六日でございます。また新聞記事の中で父万吉の死亡の年が違っていましたので、昭和四八年と訂正しておきました。

どうぞこれからもよろしくお願いたします。
(事務局より)
三浦さんよりいただいた写真(左:草野心平先生 右:菊池万吉先生)と新聞記事は、資料とともに、図書室に掲示しております。



同窓生の著書(図書館寄贈分) 平成18年1月末日現在

下記のとおり図書を寄贈していただきました。ありがとうございました。

著者	書名	卒業年
下田 静子さん	句集ななかまど	昭和28年
佐藤 木美さん	供花-あなたを抱いて-	昭和35年
松本 啓さん	イギリス小説の知的背景	昭和29年
高橋 純さん	丘の上の学園	昭和54年

市勢功労者に15人

水沢市と市教委は、表彰するものを表す「賞状」(平成16)年度市勢功労者表彰受賞者として、地方自治功労者として、地方自治功労者(1)に高橋敏文(82)、花山雅夫(79)伊藤記好(83)、佐藤水男(86)、計15人に贈られる「市民新年交歓会」の牌を授けられた。

功労内各者の名は、別紙に掲載する。

市勢功労は、長年にわたり各分野で市勢の発展に尽力した個人、団体、真の功労者(1)高野繁 敬。立町佐。

「大町オープンカフェ」を実施する水沢市大町街づくり推進協議会会長、小林佳良さん。

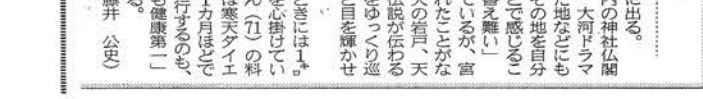
指し、歩道にごきんごのスペースを提供する社会実験「オープンカフェ」を美大町で実施する。

「大町オープンカフェ」を実施する水沢市大町街づくり推進協議会会長、小林佳良さん。

指し、歩道にごきんごのスペースを提供する社会実験「オープンカフェ」を美大町で実施する。



佐々木 勳 (高6回・昭29卒) 胆江日日新聞



小林 佳良 (高6回・昭29卒) 岩手日報

'05 クローズアップ

愛に満ち激務こなす

石川 敬治郎さん

子どもの療育活動に情熱を注いだ小児科医 (4月24日死去、72歳、盛岡市)

「愛に満ち激務こなす」石川敬治郎さん。石川さんは、小児科医として、小児科の診療に情熱を注ぎ、小児科の発展に尽力した。石川さんは、小児科の診療に情熱を注ぎ、小児科の発展に尽力した。

石川敬治郎さん(高3回・昭26卒) 岩手日報



菅原さんの大臣表彰 非行少年の更生に尽力

菅原 和歌 (高女17回・昭18卒) いわき民報

非行少年の更生に尽力した菅原和歌さん。菅原さんは、非行少年の更生に尽力し、社会復帰に貢献した。菅原さんは、非行少年の更生に尽力し、社会復帰に貢献した。

菅原和歌さん(高女17回・昭18卒) いわき民報

アグリビジネス推進に熱意

沼新 (高15回・昭38卒) 岩手日報

沼新さんは、アグリビジネスの推進に熱意を持って取り組んでいる。沼新さんは、アグリビジネスの推進に熱意を持って取り組んでいる。

襟正し、県警不祥事根絶を

佐藤ソノ子 (高8回・昭31卒) 岩手日報

佐藤ソノ子さんは、県警の不祥事を根絶するために奮闘している。佐藤ソノ子さんは、県警の不祥事を根絶するために奮闘している。

総合開会式への結集期待

伊藤 勝 (高20回・昭43卒) 岩手日報

伊藤勝さんは、総合開会式への結集を期待している。伊藤勝さんは、総合開会式への結集を期待している。

メイプル再生 力の限り支援

依田 英晴 (高11回・昭34卒) 岩手日報

依田英晴さんは、メイプル再生に力の限り支援している。依田英晴さんは、メイプル再生に力の限り支援している。

北上市勢功労者決まる

盛岡振興局長に千葉氏 異動

北上市勢功労者決定式が行われ、盛岡振興局長に千葉英寛氏が異動した。北上市勢功労者決定式が行われ、盛岡振興局長に千葉英寛氏が異動した。

千葉英寛 (高19回・昭42卒) 岩手日報

原田敬三 (高5回・昭28卒) 岩手日報

八幡氏(首都圏)が特別講演

水沢市民憲章制定40周年 26日に推進協が総会

八幡和郎氏が特別講演を行い、水沢市民憲章制定40周年記念大会が開催される。八幡和郎氏は、特別講演を行い、水沢市民憲章制定40周年記念大会が開催される。

八幡和郎 (高5回・昭28卒) 胆江日日新聞

水沢信用金庫の新理事長

及川 富美人さん



63年水沢信用金庫入庫。91年常務理事、94年常務理事、97年から専務理事。水沢市彌子。61歳、同市生まれ。

「新しい、新しい、新しい...」と、新しい、新しい、新しい...

及川富美人 (高15回・昭38卒) 岩手日報

「戦争と象」を上演する瑛子語り草子の会

高橋 瑛子さん



演劇「お金にはならない」の「ヤメめ」役

「戦争と象」を上演する瑛子語り草子の会... 高橋 瑛子さん

高橋 瑛子 (高12回・昭35卒) 岩手日報

少子化見通す重要資料

就業変化「明らかに」



「政府統計の充実を図る」と話す大林千一総務省統計局長

【東京21日】総務省が、少子化見通す重要資料... 就業変化「明らかに」

「政府統計の充実を図る」と話す大林千一総務省統計局長... 大林千一 (高20回・昭43卒) 岩手日報

菅原 恵子 (高17回・昭40卒) 岩手日報

「県南地帯」を取りこみ、医療関係者... 菅原 恵子 (高17回・昭40卒) 岩手日報

菅原 恵子 (高17回・昭40卒) 岩手日報

大林 千一 (高20回・昭43卒) 岩手日報



会館中心は患者さん。悩まを有し、会館員たちの「心」のよしみ「さ」にならばと思... 菅原 恵子 (高17回・昭40卒) 岩手日報

委員長八重樫氏 教育長に高橋氏 八幡平市教委 八重樫勝氏(やがし)・若手日報

教育長の高橋氏が同日から四年間... 八重樫勝氏(やがし)・若手日報

八重樫 勝 (高13回・昭36卒) 岩手日報

教育委員長に及川征一氏 江刺市 及川征一氏(やがし)・若手日報

征一氏(やがし)「写真」を... 及川征一 (高13回・昭36卒) 胆江日日新聞

及川 征一 (高13回・昭36卒) 胆江日日新聞

総選挙、外交問題も重要 山口氏 国際担当顧問が講演 水沢

講演する山口氏 共同通信社 山口氏(やがし)「写真」を... 山口 光 (高15回・昭38卒) 岩手日報

山口 光 (高15回・昭38卒) 岩手日報

水沢観光協会初の女性副会長 三浦 千恵さん 三浦千恵さん(みやま)「写真」を... 三浦 千恵 (高11回・昭34卒) 胆江日日新聞

三浦 千恵 (高11回・昭34卒) 胆江日日新聞

三浦 千恵 (高11回・昭34卒) 胆江日日新聞

二酸化炭素を活用した工業洗浄技術の実用化に成功した

管野 昌之さん 管野昌之さん(みやま)「写真」を... 管野 昌之 (高12回・昭35卒) 岩手日報

管野 昌之 (高12回・昭35卒) 岩手日報

管野 昌之 (高12回・昭35卒) 岩手日報

大学生ボランティア「るっだんて」の代表



柴田 奈実さん

大学生によるボランティア「るっだんて」の代表。今年度の代表は、柴田奈実さん。彼女は、今年度の「るっだんて」の代表として、全国の各都府県に赴き、活動の推進を図っている。今年度の活動は、主に「るっだんて」の活動の推進を図っている。今年度の活動は、主に「るっだんて」の活動の推進を図っている。

県立大総合政策学部3年。勉学の傍ら、04年から盛岡東地区少年補導員を務める。盛岡市在住。21歳。前沢町生まれ。

世代を超えて結び合う「一輪車」になりたい (小野寺 卓朗)

算数・数学教育実践研究優秀論文賞を受賞した



熊谷 治久さん

「大切な子どものための算数」の題目に、熊谷治久さんの論文が選ばれた。熊谷さんは、今年度の算数教育実践研究優秀論文賞を受賞した。熊谷さんの論文は、算数教育の重要性を説き、子どもたちの学習意欲を高めるための工夫を述べた。熊谷さんは、今年度の算数教育実践研究優秀論文賞を受賞した。

岩手大教育学部を卒業し、上越教育大学大学院に修士課程修了後、92年から岩手大附属中教諭。99年から盛岡市立第二中学校教諭。37歳。江利市生まれ。

柴田 奈実 (高54回・平14卒) 岩手日報

熊谷 治久 (高38回・昭61卒) 岩手日報

W自転車杯 及川(水沢)が代表選出



及川 裕奨

9・11日と国際グランプリケイリン(同日)の日本代表を発表し、W杯には水沢市の競輪選手、及川裕奨が4人を選んだ。及川は今年2月のW杯(オーストラリア・シドニー)に出場。男子チームスプリントで日本の一員として2位に入ったほか、千円タイムトライアルで5位となった。

3月の世界選手権(米國ロサンゼルス)ではチームスプリント6位、千円タイムトライアル14位だった。

水沢高1年から競技を始め、3年時の1000gの若手インターハイでスプリント6位、同年の熊本国体スプリントで2位。卒業後の01年にプロデビューした。

及川 裕奨 (高52回・平12卒) 岩手日報

「きっさんの笑顔レシピ」を出版した



及川 喜久子さん

地元食材と南部鉄器にこだわった「きっさん」の笑顔レシピ。及川喜久子さんが、今年度の「きっさん」の笑顔レシピを出版した。及川さんは、今年度の「きっさん」の笑顔レシピを出版した。

77年喫茶店「りょんりょん」開業。2000年から市社会教育委員。水沢市上姉体2の6の3。52歳。水沢市生まれ。

「きっさん」の笑顔レシピは、地元食材と南部鉄器にこだわった。及川さんは、今年度の「きっさん」の笑顔レシピを出版した。

及川喜久子 (高24回・昭47卒) 岩手日報

平成17年度(1月末日現在) 激励金交付一覧

交付日	部 活	大会 名	場 所	備 考
6月10日	弓道	東北選手権大会	郡山	男子個人 畠山直也
6月13日	家庭クラブ	研究発表東北大会	秋田	ホームプロジェクトの部 佐藤千晶
6月13日	家庭クラブ	研究発表全国大会	千葉	ホームプロジェクトの部 佐藤千晶
6月20日	陸上	東北陸上競技大会	青森	藤波梓
6月24日	卓球	東北選手権大会	酒田	シングルスおよびダブルス 遠藤農・安倍光貴
7月22日	美術	全国高校総合文化祭	青森	小野寺くるみ
8月3日	ソフトテニス	全国高校総合体育大会	千葉	女子個人 山谷あすか・畑中友子
6月10日	ソフトテニス	東北選手権大会	北上	女子団体、個人 山谷あすか・畑中友子
7月13日	水泳	東北水泳競技大会	盛岡	木村真二・及川竜太・千葉達郎・三浦崇義・福士亮介・石川香澄・山崎綾夏・安倍泉・扇洋子
7月22日	文芸	全国高校総合文化祭	青森	坂田真美
8月3日	かるた	全国高校総合文化祭	青森	新田圭祐・新田俊介
8月3日	俳句	「俳句甲子園」全国大会	愛媛	千田咲・安倍美果子・小山藍・菊地真絵美・津田志徳里
8月31日	SSH	S S H生徒研究発表大会	東京	石川絵里奈・及川貴枝・斎藤詩織・高橋真美・細川友紀恵
10月26日	水泳	東北高校新人水泳競技大会	宮城	三浦崇義・福士亮介・木村真二・及川竜太・石川香澄
11月2日	かるた	高校かるた東北大会	盛岡	小野貴史・新田俊介
11月25日	文芸	高校生文芸道場東北・北海道大会	北海道	高橋侑子・小川原有紗・石川朋・坂田真美・菅野晴香・石田真理子
11月26日	文芸	全国高校生文芸コンクール	東京	文芸部誌奨励賞
11月27日	文芸	高校生文芸道場総合大会	東京	文芸部誌部門
12月14日	将棋	東北地区高校将棋新人大会	秋田	田内遼
12月28日	科学	日本学生科学賞	東京	石川絵里奈・及川貴枝・斎藤詩織・高橋真美・細川友紀恵
1月20日	ソフトテニス	東北インドアソフトテニス大会	宮城	千田七瀬・佐藤千恵美

第43代水沢青年会議所理事長



阿部 靖彦さん(38)

判断を求められる時の備えを

阿部さんは、今年度の水沢青年会議所理事長に就任された。阿部さんは、今年度の水沢青年会議所理事長に就任された。

阿部 靖彦 (高37回・昭60卒) 胆江日日新聞

住吉 正志さん(40)



住吉 正志さん(40)

「地元へ貢献する企業に」

住吉さんは、今年度の「地元へ貢献する企業に」に選ばれた。住吉さんは、今年度の「地元へ貢献する企業に」に選ばれた。

住吉 正志 (高37回・昭60卒) 胆江日日新聞

後輩も頑張っています

最近 5 年間の大学合格状況

卒業年		17	16	15	14	13
大学名	延人数	154	160	137	121	132
	実人数	149	153	135	120	129
国立	延人数	148	210	233	220	244
北海道		1	2	0	2	3
弘前		7	11	8	6	7
岩手		27	34	28	20	25
東北		11	11	7	5	9
宮城教育		1	3	0	1	2
秋田		7	5	3	4	5
山形		8	14	9	2	15
福島		11	9	8	10	9
茨城		5	0	6	5	4
筑波		2	2	1	3	1
宇都宮		11	6	8	4	1
埼玉		5	5	7	5	2
千葉		2	2	0	1	3
東京		0	1	0	0	0
東京外国語		0	2	0	0	1
一橋		2	2	0	0	0
横浜国立		2	0	3	1	0
岩手県立		15	17	16	13	10
東北学院		22	36	20	19	26
青山学院		2	3	3	1	2
慶応義塾		0	0	1	0	1
中央		6	8	6	7	7
法政		2	3	3	4	4
明治		2	7	8	9	12
早稲田		7	7	6	6	9

平成十七年度 職員異動

◆ 転入

鈴木 一彦 (教頭) 胆沢
大内 国芳 (数学) 遠野
小原 信 (体育) 盛岡北
秋田美紀男 (英語) 不来方
大光 純 (英語) 盛岡市立
菊地 恵子 (数学) 久慈東
木津 聡嗣 (体育) 新採用
佐々木望微 (音楽) 常勤講師
鱒沢 直美 (国語) 常勤講師
近藤 正光 (英語) 常勤講師
高野 千尋 (実習教諭) 期限付採用
小館 保雄 (事務) 県教委
佐藤 清吾 (事務) 岩谷堂

◆ 転出

畑 正好 (教頭) 大槌 (校長)
老藤 順一 (数学) 盛岡工業
冨手 健悦 (体育) 花巻北
小坂 信彦 (英語) 大野
村上 文昭 (体育) 大船渡
小山田吉勝 (体育) 盛岡北
大内 寿文 (英語) 岩泉・田野畑
三浦 幸 (英語) 千厩
安倍 由紀 (実習教諭) 黒沢尻工業
高橋 吉男 (事務) 花巻養護
小野寺みち子 (事務) 胆沢
◆ 退職
松田 寿 (数学)

◆◆ご注意願います◆◆

最近、同窓会および学校の名をかたって、「同窓生名簿を作り直すため」などと称して、卒業生の連絡先を聞き出そうとする電話が、卒業生の実家などに頻繁にかかってくるようになってきています。中には「同窓会の〇〇だが」「事務室の□□だが」と偽名を名乗ってしつこく聞き出そうとするケースもあるようです。同窓会および学校からは一切ありませんので、どうかご注意下さい。なお、ご家族の皆様にもご注意下さるようお願いいたします。

編集後記

思いがけず事務局を担当することになり、各地の同窓会に参加させていただき、各様の母校へ寄せられた思いを感じております。木造校舎が気質は変わっていません。水高生が棒倒し。納得するまで本音の議論を戦わせた応援団選出。これからの水高の経験が将来の財産になることを願っています。

◆ 寄付のお願い

近年、同窓会会計は、会員数の増加に伴う会報発行経費の増大などにより、苦しい運営を迫られております。そこで、昨年度の同窓会報でご寄付をお願いいたしましたところ、任意のお願いにもかかわらず、多くの方々から、同窓会と育英会あわせて合計百六万二千二百五十円(平成十八年一月末日まで)もの、ご寄付を頂戴いたしました。大変ありがたうございました。おかげさまで、会計運営に若干の余裕が生まれてまいりました。皆様から頂戴しました浄財は、会の運営に加えて百周年事業の貴重な財源とさせていただきます。本年度も、金額はいくらでも構いませんので、ご協力願えれば幸いです。郵便振替口座

- 水沢高等学校同窓会 0222501162903
- 水沢高等学校育英会 023401213773
- 水沢高等学校野球部後援会 02310191757

◆ お願い

「宛先不明」で戻ってくる会報が多くなりました。住所変更の際には、電話(宅)☎三三三 ファックス(宅)☎三三三三三 またはメール (アドレス) yunkino.kisho@msw-hiwave.ed.jp) で一報お知らせください。届かないという方がおられましたら、前記連絡先をご紹介いたしますようお願いいたします。